

日本医療機能評価認定病院

# 医療法人社団三光会 誠愛リハビリテーション病院

所在地 〒816-0955 福岡県大野城市上大利724-1

TEL：092-595-1151 FAX：092-595-1199

http://www.seiai-riha.com/

100%の在宅復帰率を目指して！当院は質の高いリハビリテーション医療することで患者様ひとりひとりの社会参加と活動を支援します。



## 基本理念

- 患者さまの人権を尊重した医療を行います
- 全人的な最高最良のリハビリテーションを提供します
- 安全で公正な医療を、優れたチーム連携の下に行います
- 活発な研究及び研修活動を展開します
- 地域社会に根ざしたリハビリテーションを目指します

**診療科目** リハビリテーション科・内科・神経内科・整形外科

**病棟・病床数** 合計210床

**一般病棟** (54床) この病棟は全ての入院の窓口として、急性期から慢性期まで、医療行為(治療・処置・検査)を多く必要とする患者様を対象としています。

**療養病棟** (80床) 一般病棟・回復期リハビリテーション病棟の後、入院療養の必要がある、慢性期の患者様を対象としています。

### 回復期リハビリテーション病棟

(76床) この病棟は脳血管疾患または大腿骨頸部骨折等の患者に対して、日常生活動作の向上による寝たきりの防止と、家庭復帰を目的とした、リハビリテーションプログラムを、医師・看護師・理学療法士・作業療法士等が共同して作成し、これに基づくリハビリテーションを集中的に行う病棟です。

**施設認定** 総合リハビリテーション施設 回復期リハビリテーション病棟 言語聴覚療法。

**医療設備** MRI・全身CT・超音波・XTV・上部消化管・大腸ファイバー・三次元動作解析装置・デジタル脳波計・その他

**入院患者数** 平均200人 **外来患者数** 1日平均270人

**関連施設** 介護老人保健施設カトレア 居宅介護支援事業所カトレア 訪問看護ステーション誠愛



### 交通のご案内

- JR博多駅から下り線乗車  
大野城駅にて下車 (所要時間約15分) その後タクシーにて約5分
- 西鉄福岡天神駅から乗車  
下大利駅にて下車 (所要時間約12分) 駅前バス停より西鉄バス乗車  
小水城バス停で下車後徒歩3分
- 九州自動車道から  
太宰府インターより所要時間約15分/筑紫野インターより所要時間約10分

## リハビリテーション部



100名以上のセラピスト数（理学療法課42名・作業療法課44名・言語聴覚療法課15名）を誇るリハビリテーション総合承認施設です。医師・看護部・福祉部と協同して、チームで可能な限りの機能回復を目指した治療、生活の質の向上から社会への統合のプロセスを援助しています。

対象者の多くは、脳卒中・脳性麻痺などの患者さんで、成人から小児までの中枢神経に障害のある方の治療を積極的に行っています。

主な治療法としては、神経生理学を背景とした、ボバースアプローチを取り入れています。実施にあたっては国際公認インストラクター（3名）の指導のもとに、各個人に応じた治療を展開しています。

また、自閉症をはじめ、知的障害をもったお子さんへの療育も行っています。内容は個人の発達水準に応じた「個別指導」と、同年代のお子さん数名での「集団指導」となっています。

さらに、当院では理学・作業療法士、言語聴覚士それぞれが対象者の日常での課題に応えるため、家庭訪問・職場訪問・学校訪問を行ない、地域社会との積極的な連携を実践しています。



## 看護部



当院は、脳血管障害の後遺症がある方を対象としています。したがって看護は、後遺症が原因となり日常生活の活動が傷害された方の看護が中心となります。看護活動の中心は対象者の意思を大切にすることを念頭に置き、リハビリテーションによって、改善された機能を、その方が自分の生活の場で再び生活（適応）出来るよう、日常生活活動の向上に向けて看護を実践しています。

また、障害をもった方が、障害を受け入れ（適応）、自分自身をかけがえのない存在として認識できるように、病気の中に意味を見出す事が出来るような看護を目指しています。

看護者は、その方の適応を促進することが役割であると考えている為、システム理論と適応レベル理論に基づいたロイ適応モデルを導入しています。

## 福祉部

退院後の在宅生活を行うためには、「どのようなサービスを受けられるのか？何を必要とするのか？いつ必要なのか？」等を患者様及び家族、病院スタッフと共に、ひとりひとりの患者様に適したサービスを検討し、患者様の身体状況と家庭及び環境に応じた在宅復帰への支援を行います。また、患者様の状況によっては身障者手帳、障害年金の手続き等の公的援助に関することや、介護サービスを受けるための諸手続き方法等についてもお手伝いしています。

退院後も関連施設との連携や個別での家庭訪問など環境調整が適切であるかを確認しながらきめ細かく日常生活活動改善の支援をいたします。

### ■ 地域との連携

退院前訪問は全患者様対象に行ない、全児童を対象に定期的な学校訪問も実施しています。また、日常的に地域に開かれた病院として、夏休みには多くの学校関係者の見学や、職場訪問やボランティアなど当院と関わりを持って頂く機会を積極的に進め、地域に根ざした活動として夏祭り・外来旅行・演芸会など当院の患者様と地域の方々に参加頂く催しを年間通じて計画・実施しています。

### ■ 研修・研究活動

積極的な卒前卒後教育として現在急速に増えつつある理学・作業療法士、言語聴覚士養成校の臨床実習も年間30数名を受容れ、後進の育成に取り組む一方、臨床を通じて年間20程度の研究活動が行ない各学会などで発表しています。また、成人片麻痺ボバース認定講習会をはじめ年間10数回開催される研修会にはリハビリテーションの基礎となる各分野の第一人者を講師に招き、広く全国から受講者を募り実施しています。

